

## アクセルを踏むな、ブレーキを緩めよう。

「ISOが教える成功の原理」



### 「ISOが教える成功の原理」

お客様講習会 (2011. 07. 08)

7月8日大阪で研修会を開きました。当社が大阪に審査機関を開設したのはもう10年以上も前のことです。そして現在の大阪市中央区に事務所を移転してから丁度10年が経過しました。

まだ何も実績のない新日本認証サービス株式会社に第一号としてお客様になっていただいた四国の金田社長をはじめ、登記のために事務所を貸してくれた友人。審査機関はみんな大手の検査機関や財団法人で、個人が会社を作って乗り出したのは当社が初めてでした。

個人なのになぜコンサルタントではなくて審査機関なのか。アイソスさんからもそんな疑問を投げかけられたことを覚えています。今年になって当社はミッションステートメントを作りましたが、マネジメントシステムは構築よりも継続的に実行していく過程と、成果が大切なのです。審査機関は、制約はあってもマネジメントを見続けて行くことができ経営者やシステムに携わった個人の目標を達成するお手伝い出来る楽しみがあります。

アイソスでもまた意見広告を復活しましたがこのHPでも「マネジメント」の著者ドラッカーや「7つ

の習慣」の著者コヴィー、アイソスに連載した時に紹介した「サイバネティクス」のノーバート・ウイナー、さらにサイバネティクスの自然法則を心理学的に解明した「サイコ・サイバネティクス」の著者マクスウエル・マルツ古くは「自助論」のサミュエル・スマイルズといった方々、が共通して言われている「世の中の原則」。分かりにくいことではありますがナポレオン・ヒルがカーネギーに言われて集大成した「成功法則」。こうした法則や原則がマネジメントの規格であってみれば当然のことですが、ISO特に最初の「マネジメントシステム規格」であるISO 14001の要求事項にしっかりと書かれています。

日本では少なくとも数万社がISOを導入しており携わっている人は数百万人に上る筈です。しかしISOが「別物」になっているために、あれだけ関心を持たれた「もしドラ」がとっくの昔にあなたの会社に導入されているのに気づいていないのかもしれない。

EFFECTIVEを「有効性」と翻訳し感覚的にEFFICENCYと変わらない考えで厳しく実行されていないのが実情です。Effectiveとは結果を出すという意味でISOはそれを要求しています。勿論プロセスも大事ですがそれは結果を出すためのものです。頑張ることが要求事項ではなく結果を出すことが要求事項です。

色々なセミナーが流行していますがその講師はほとんどが(ある人)の受け売りです。聞かれたことがあるでしょうか。

「人間は痛みを避けて快樂を得るように行動する」  
「情報は力ではない」  
「人生の質は質問の質である」  
「目標設定がすべての始まりである」  
「経営者は資源を用意しなければならない」  
「人は一番の資産である」  
などなど・・・

誰もがみんな「先生」から学ぶので、受け売りが悪いのではありませんが、是非古典的な書物を読んでほしいと思います。あまりにも手軽にインターネットから引っ張り出していませんか。「情報は力ではない」のです。これらはすべて「原則」であるからこそ皆が使うのでしょうか当然のこととしてISOのマネジメントシステム規格の要求事項でもあって皆様方が日々会社で実行している「筈」なのです。

ここ一年ほどドラッカーの「マネジメント」のエッセンシャル版は100万部を超えるベストセラーとなりましたが、本当に読んだ人は1/10だともいわれています。

ISOはマネジメントシステムの規格としてドラッカーはじめ多くの方々が言われていることのエッセンスです。

当社のお客様にアンケートを依頼したところ260社のうちから80社の回答があり

マネジメントを強化させたい	37.5%
会社の目標を達成させるツールとしたい	41.3%
従業員教育に使いたい	46.3%

でした。

私達のお客様の多くの組織がISOをこのような使い方をしてほしいと思っておられることは大変心強いことだと思えました。

ISOを導入していれば、当然目標は設定していますね。そしていくつかの目標は達成しましたね。

おめでとうございます！！

(え？目標は一向に達成されないよという声が聞こえてきそうですが・・・)。

いくら自己啓発の本を読んだりそのようなセミナーに行ったりしても行動しなければ目標は達成できませんが、それでも生涯学習することを怠ってはいけません。

ISOを本気で使えば目標は達成できるように、そのように規格は作られています。

次回からその方法を勉強していきましょう。

そう、ブレーキを緩めれば車(システム)は自然に前に進みます。



(榎崎建志)

### ミッションステートメント

私たちはISOマネジメントシステムの意図を正確に伝えCUSTOMER(顧客)の目標達成に貢献し続けます



541-0053 大阪市中央区本町1-5-7 西村ビル704  
電話 06-4964-6881 FAX 06-4964-6882  
<http://www.njc-jp.com>



当社へのご連絡・この広告へのご意見は [njc-cel@nifty.com](mailto:njc-cel@nifty.com) へどうぞ

Beckett Way Park West Business Park,  
Nangor Road, Dublin 12, Ireland



TNS CO., LTD.  
4996